

防火標語  
お出かけは  
マスク戸締り  
火の用心



発行所  
公益財団法人長野県消防協会  
(長野県庁西庁舎)  
〒380-8570  
長野市大字南長野字幅下692-2  
TEL (026) 232-5319  
編集発行人  
上條博文

長野県消防協会 <http://naganoken-syouboukyoukai.com/>



# 新年のごあいさつ

公益財団法人長野県消防協会会長 上條 博文

新年明けましておめでと  
うございます。県下77団、  
3万8千人余の消防団員を  
はじめ、消防関係者の皆様  
におかれましては、新たな  
希望を持って令和5年の新  
春をお迎えのこととお慶び  
申し上げます。

地や山林の火災も相次ぎ、  
尊い人命や財産が失われま  
した。各地の消防団が災害  
火災現場の最前線で住民の  
救助、避難誘導、警戒活動  
に携わってこられました。

この様な中、長野県消防  
協会では6月に新役員の体  
制がスタートしましたが、  
7月に3年ぶりに県消防ボ  
ンブ操法大会、ラッパ吹奏  
大会を松本で開催、9月に  
は消防殉職者慰霊祭、10月  
には一堂に会して3年ぶり  
となる消防団長、事務担当  
者研修大会など、感染症対  
策を講じながら実施してま  
いりました。参加、御協力  
いただいた役員、団員並び  
に関係の皆様には厚く御礼  
申し上げます。

なっています。長野県消防  
協会といたしましても、一  
層の団員募集の広報に取り  
組むとともに、やりがいや  
魅力ある消防団づくりを支  
援するための事業に知恵を  
出していきます。

消防団員の皆様には、仕  
事を持ちながらそれぞれの  
地域において、火災や風水  
害などあらゆる災害から地  
域の皆様の生命、身体及び  
暮らしを守るため、郷土愛  
と奉仕の精神を持って職務  
に精励されておられますこ  
とに対し、深く敬意と感謝  
の意を表します。また、日  
頃より長野県消防協会の各  
種事業の運営に御理解と御  
協力をいただいていること  
に、厚く御礼申し上げます。

昨年、1月早々新型コ  
ロナウイルス、オミクロン  
株による感染拡大が顕著と  
なり、この波が6月まで及  
んだため、各消防団の訓練  
や行事がなかなか平常通り  
実施できず、団員士気の保  
持や技術の維持向上、団運  
営が難しい状況であったこ  
とと思います。感染拡大の  
波はその後も8月から9  
月、11月から現在までと繰  
り返し、全県の感染レベル  
や確保病床使用率も高い状  
況で推移しています。団員  
及び消防関係者の皆様に

消防団員の確保は喫緊の  
課題です。県内の消防団員  
の実員数は、団員の年額報  
酬の改善や直接支給の取り  
組みと相まった団員把握の  
厳格化等により、昨年4月  
現在で一昨年と比べて1、  
590人の減少とこれま  
でで最も大きな減少幅と

おわりになります。本  
年が災害のない平穏な年と  
なりますよう心から願うと  
ともに、皆様方の益々の御  
健勝と御多幸を御祈念申し  
上げます。

近年、気候変動の影響に  
より、県内でも台風や線状  
降水帯による大雨で水害、  
土砂災害が頻発し、激甚化  
しております。昨年は市街

及び消防関係者の皆様に

で最も大きな減少幅と

御祈念申し



## 謹賀新年

公益財団法人  
長野県消防協会

会 長	上條 博文
業務執行理事	福澤 賢治
副会長	日下部良也
副会長	松本 道夫
常務理事	柳沢 政義
理 事	永井 豪
	関 俊之
	黒澤 薫
	小松 良成
	竹入 英城
	坂巻 剛弘
	田近 哲也
	二木 弘
	平出 誠二
	岡田 正
	中村 公彦
	豊田恵佐学
	出澤 重樹
監 事	菅沼 祐介
	宮下 喜幸
	青木 弘
評議員	五十嵐幸男
	河西 満正
	藤森 芳樹
	倉科 広三
	田中 敏勝

### 第3回理事会開催

#### 令和5年度事業方針を決定

令和4年度第2回専門委員会と第3回理事会を12月9日(金)、長野市内で開催しました。理事会に先立って行われた総務、教養、福利厚生各専門委員会が所管の5年度事業方針を協議。結果が各委員長から理事会で報告され、次のとおり承認、決定されました。また、来年度の県消防ポンプ操法大会・消防ラッパ吹奏大会を長野市の県消防学校で初めて実施することも承認され、当協会の上伊那消防協会長(竹入英城理事)からあいさつがありました。

事業方針に沿って5年度予算案を作成し、次回3月の第4回理事会で審議いただきます。



#### 総務専門委員会関係

①基金運用、日本消防協会、県消防協会定例表彰、消防団員の活動に対する事業所等への協力依頼について従来どおり行います。

②広報活動は、ホームページに新たに「消防団員募集」のコーナーを作り、動画の掲載や総務省消防庁の関連コーナーへのリンクを貼ります。また、ホームページ、機関紙「信州消防」にも主要行事の案内周知や実施事業の報告を行います。フェイスブックは、ホームページにリンクを貼り、主要行事に加えて各団の事業を希望に応じて掲載します。

③女性消防団員活性化会議を引き続き開催し、県内女性消防団員の交流、情報交換を促進します。また、活性化大会の開催についても検討していきます。

④県の関与として、今年度と同様の事業費補助及び県の当協会運営への参加を依頼します。

#### 教養専門委員会関係

①第65回(令和5年度)県消防ポンプ操法大会は、7月23日(日)、長野県消防学校の放水訓練場で行います。運営方法等は次の内容を基本に具体的な実施要綱を作成し、今後の理事会で協議いただきます。

(1) 操法実施要領及び操法大会審査要領は、必要事項の修正をします。

(2) 運営方法  
・選手及び選手関係者の負担軽減と3密回避のため、地区消防協会ごとに集合、受付・点検、待機、競技のエリアを一巡する入換え方式とします。

・開閉会式典及び表彰式は行いません。

・選手関係者、来賓及び広報・報道関係者の入場は、縮減に協力を求めた上で緩和します。

・新型コロナウイルス感染症感染防止対策及び熱中症予防対策に万全を期すとともに、参加者にも対策の徹底を呼び掛けます。



②第32回(令和5年度)県消防ラッパ吹奏大会は、期日は令和5年度県消防ポンプ操法大会と同じ、場所は長野県消防学校屋内訓練場で行います。今後具体的な実施要綱を作成します。

(1) 実施要領は今年度改正版からの大きな改正はない見込みです。

(2) 運営方法は令和5年度県消防ポンプ操法大会と同様です。

(3) ブロック推薦審査員は、ブロック内の各地区協会で協議した上で決定し、事務局に報告いただいた後、令和5年3月の第4回理事会の承認をもって正式決定とします。

(4) ラッパ吹奏講習会は、ブロック推薦審査員4名も参加していただき令和5年4月22日(土)県消防学校で行います。

(5) 第13回長野県消防団長・事務担当者研修大会は、10月18日(水)午後1時から、松本市のホテルモンターニユで行います。なお、研修大会と交互に開催していた長野県消防団音楽隊交流演奏会は5年度は実施しません。

(6) 副団長講習会は、令和5年6月10日(土)県消防学校で行います。

(7) 消防団員指導員研修は、令和5年12月14日(木)と15日(金)に1泊2日で県消防学校で行います。

(8) 消防団員幹部特別研修(日本消防協会主催)は、1月中旬に東京都で行われます。参加者1名の割当は北信ブロックです。

(9) 消防団幹部候補中央特別研修(日本消防協会主催)は、男性が2月上旬、女性が2月中旬に東京都で行われます。参加者男女各1名の割当は、東信、南信、中信ブロックです。

(10) 第25回全国女性消防操法大会(日本消防協会主催)は、10月21日(土)に東京都で開催されます。県代表チームに出場支援をします。

(11) 第28回全国女性消防団員活性化石川大会は、11月16日(木)に金沢市で開催されます。参加者枠に応じて参加希望を募ります。

## 信州消防団員 応援ショップ

店舗登録  
募集中!

消防団員とご家族のご利用を  
お待ちしております。

①日本消防協会の消防団員等福祉共済は、県下消防団員が全員加入しています。消防個人年金、婦人消防隊員等福祉共済、全日本消防人共済会の火災共済にも多くの団員に加入いただきます。

②県消防関係殉職者慰霊祭は、9月上旬長野市花岡平慰霊碑前で行います。県消防長会との共催で、5年度開催当番は県消防長会です。

③第42回全国消防殉職者慰霊祭は、9月14日(木)日本消防協会で行われます。

④日本消防協会の福祉共済及び長野県消防協会定款細則に基づく弔慰金等について、請求漏れがないように制度の周知を図ります。

⑤信州消防団員応援ショップ事業について、団員への周知を図るため、ホームページや機関紙「信州消防」により積極的に広報していきます。



### 消防出初式各地で挙行

令和5年の消防出初式が73市町村で挙行されています。(1月実施67、4月実施6)多くの市町村で参加者縮減など新型コロナウイルスの感染防止対策を講じながらの実施となっています。

#### ◇長和町消防出初式

1月8日(日)、観閲式及び式典が挙行されました。長和町長門町民センターで行われた式典には約110名の関係者が出席。来賓の阿部守一知事が祝辞を述べ消防団(黒澤団長、県協会理事)を激励されました。

関昇一郎副知事は1月22日(日)小布施町消防出初式に出席されます。



長和町消防出初式 阿部知事

#### ◇松本市消防出初式

1月5日(木)、観閲式及び式典が挙行されました。隊列は松本城から行進、千歳橋で臥雲市長、降幡消防局長、上條消防団長(県協会長)が観閲。関係者約600名が参加してまつもと

市民芸術館で式典が行われました。



松本市消防出初式観閲式

#### ◇長野市消防出初式

1月7日(土)観閲式及び式典が挙行され、関係者約600名が参加しました。荻原市長を先頭に、佐伯消防局長、松木消防団長(県協会副会長)等参加者が隊列を組み、善光寺、中央通りを行進。長野市役所前で市長観閲、長野市芸術館で式典が行われました。



長野市消防出初式隊列行進



長野県消防協会会長表彰



### 消防団員指導員研修

消防団活動の中核として、指導力をもって遂行している団員を対象に12月15日(木)と16日(金)、消防団員指導員研修を県消防学校で実施しました。研修には県下各地から29名が参加。会長講話、県消防課による災害対応ゲームクロスロード、消防学校による講義や応急救護などの実技の9科目を受講しました。受講者は次の通りです。

消防団名	階級	氏名
南牧村	副団長	有坂 泰志
佐久市	副団長	土屋 博之
佐井沢町	副分団長	佐藤 幸恒
御代田町	副分団長	古越 隆弘
青木村	副分団長	小林 忠彦
茅野市	副分団長	濱 隆一
諏訪市	副分団長	佐久間 健一
下諏訪町	副分団長	岩波 義之
駒ヶ根市	副分団長	山口 剛
高森町	副分団長	藤田 薫
天龍村	副分団長	橋爪 良貴
木曾町	副分団長	清水 文
大桑村	副分団長	松谷 賢太
松本市	副分団長	堀井 大輔
塩尻市	副分団長	高橋 学
安曇野市	副分団長	瀧澤 功一
生坂村	副分団長	荒川 裕史
朝日村	副分団長	高橋 功一
大町市	副分団長	宮嶋 尚久
小谷村	副分団長	宮嶋 尚久
千曲市	副分団長	宮嶋 尚久
坂城町	副分団長	宮嶋 尚久
須坂市	副分団長	宮嶋 尚久
小布施町	副分団長	宮嶋 尚久
長野市	副分団長	宮嶋 尚久
信濃町	副分団長	宮嶋 尚久
飯綱町	副分団長	宮嶋 尚久
栄村	副分団長	宮嶋 尚久

### 第12回長野県消防団長・事務担当者研修大会開催

10月19日(水)、松本市で全県から消防団長と事務担当者、地区消防協会幹事合わせて156名の出席を得て研修大会を3年ぶりに一堂に会して開催しました。



大会では、研修の前に県消防ポンプ操法大会、消防ラッパ吹奏大会の表彰式並びに県消防団協力事業所等知事表彰式を実施。入賞した各消防団と消防団協力事業所が表彰されました。研修会では、千葉県市川市消防団の安達団長から「消防団員の確保について」と題して講演いただきました。後半では団長、事務担当者それぞれのテーブルごとに団員確保や操法大会、団員報酬などについて討議、意見交換が行われました。



**県消防ポンプ操法大会・ラッパ吹奏大会  
優勝チーム知事表敬訪問**

松本市で開催した県消防ポンプ操法大会・ラッパ吹奏大会(7月10日(日))の各部門で優勝した消防団団長と選手代表が10月25日(火)、県庁に阿部知事を表敬訪問しました。来庁したのは、ポンプ車操法の部優勝の小谷村消防団深澤団長、小型ポンプ操法の部及びラッパ吹奏の部優勝の長野市消防団松木団長ほか各団員代表者の皆さん。表敬訪問では、県消防協会上條会長が大会の概要を、各団長が優勝を報告。阿部知事からは、優勝の御祝いと県内全ての消防団の活動への感謝と激励の言葉をいただきました。



**全国消防操法大会開催  
長野県代表  
長野市消防団出場**



10月29日(土)、第29回全国消防操法大会(主催 総務省消防庁・(公財)日本消防協会)が千葉県原市の県消防学校で開催されました。新型コロナウイルス感染症対策で選手及び関係者を絞り、3年ぶりに開催。ポンプ車の部に21、小型ポンプの部には、長野県代表の長野市消防団を含めて24の消防団が参加しました。

長野市消防団関係者は、前日の公式練習のため2泊3日の行程で大会に参加。17番目に登場した長野市消防団は、晴れの舞台で長い練習の集大成の操法を披露し、14位で敢闘賞を受賞しました。

**全国女性消防団員  
活性化徳島大会に参加**

総務省消防庁、(公財)日本消防協会などが主催する第27回全国消防団員活性化徳島大会が令和4年11月22日(火)徳島市で開催され、全国から約1,300人の女性消防団員はじめ関係者が集いました。当県からは上條会長他副会長、女性消防団員活性化会議の代表など合わせて9名が参加しました。



大会では、防火防災啓発劇を3県の消防団が発表、記念講演、飯泉徳島県知事がコーディネートを務めた活動事例発表とパネルディスカッション、ロビーでは展示による活動発表などが行われました。

会場は3年ぶりの開催とは思えない熱気に包まれ、参加者は活動への意欲をさらに高めました。

**参与会開催**

11月4日(金)、毎年1回開催している参与会(県協会長経験者14名で構成。五十嵐幸男会長)を長野市内で開催しました。参与10名、評議員4名と正副会長が出席。活動状況報告等について、諸先輩方から叱咤激励をいただき、有意義な会議となりました。



日本消防協会 秋本会長

**県協会定例表彰**

令和4年度の長野県消防協会定例表彰は、92団(団及び分団)と2,645名を表彰、市町村の出初式等で授与されます。

- ・ 現場功労章 1 団
- ・ 優秀章 10 団
- ・ 無火災章 4 団・58 分団
- ・ 特別無火災章 1 団18 分団
- ・ 功績章 81 名
- ・ 永年勤続功労章 2 5 0 名
- ・ 功労章 2 4 7 名
- ・ 努力章 2 1 5 名
- ・ 精績章 3 2 3 名
- ・ 技術章 2 0 7 名
- ・ 精勤章 1, 2 7 1 名
- ・ 退職者感謝状 47 名
- ・ 一般個人表彰 (前正副会長) 4 名

**消防関係者 秋の叙勲**

県内から5名が受章の栄に浴されました。(敬称略)

- ◆瑞宝単光章
- ・ 元 麻績村消防団 団長 小山 福績
- ・ 元 筑北村消防団 団長 若林 米満
- ・ 元 長野市消防団 分団長 山口 好美
- ・ 元 松本市消防団 副団長 忠地 静男
- ・ 元 木祖村消防団 団長 山田 陽一

